

学習目標（「身につけたい力」）
 ・実践的・体験的な学習活動を通し、ものづくりやエネルギーの有効利用やコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得し、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を身に付ける。

学年	第1学年	第2学年	第3学年
時数	年間35時間	年間35時間	年間17.5時間
1 学 期	<p>A（1）ガイダンス ・技術とは何か？どのような授業なのかを学習します。</p> <p>A（1）（2）材料と加工法 ・材料と加工の技術について学習します。 ・材料の基本的な性質を調べ、学習します。 ・製品を丈夫にする工夫を学習します。 ・材料に適した加工法を学習します。</p> <p>A（3）製作品の設計と製作 ・製作に必要な設計図の役割と活用方法を学習します。 ・製作品の手順を考えて製作します。 ・工具や機器を適切に使い、製作に必要な設計図にもとづいて製品の部品加工、組み立て及び仕上げ方法について学習します。</p>	<p>A（3）製作品の設計と製作 ・製作品の仕上げについて学習します。（製作振り返り）</p> <p>B（2）生物育成 ・生物を育てるための計画と管理を学習します。 ・計画を立て、適切な時期に栽培実習を実施します。 ・土作り、筋蒔き、間引き、増し土、追肥について学習します。 ・冠水や養分の日常管理、病害虫防除について学習します。</p> <p>C（1）エネルギーの変換 ・利用と保守点検 ・電気を安定的に供給するための仕組みを学習します。 ・電気エネルギーの変換と利用方法を学習します。 ・身の回りの機器について調べます。 ・機器を安全に使用方法を学習します。 ・機器の保守点検の重要性を学習します。 ・部品を適切に調整しながら組み立てる学習をします。</p>	<p>D（3）プログラムによる計測・制御 ・プログラム作成の復習を通し、プログラムの基本的な処理手順を理解し、プログラムの変更や実行など基本的な操作を復習します。</p> <p>A（1）（2）材料と加工法 ・製品に用いる材料の特徴と利用方法を知り、製品に適した材料を選び、それに適した加工方法を学習します。</p> <p>A（2）製品の製作 ・作業の計画を立て、安全に注意した、正確な加工方法を学習します。 ・作業を通し、材料に適した加工方法や工具などのしくみと使用方法について学習します。</p>

学年	第1学年	第2学年	第3学年
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の計画を立て、安全に注意した正確な加工方法を学習します。 ・作業を通し、材料に適した加工方法や工具のしくみと使用方法について学習します。 ・組み立て及び仕上げについて学習します。 <p>A (2) (3) 材料と加工の技術の評価・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成した製作品を自己評価、相互評価します。 ・材料と加工の技術が社会や環境に果たす役割と影響について学習します。 	<p>C (2) エネルギー変換を利用した製作品の設計・製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器に使われている部品の特性を学習します。 <p>D (2) デジタル作品の設計と製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気部品の特性を理解し、作品の製作に取り組みます。 <p>C (3) 生活を豊かにするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活に役立つ作品を製作します。 	<p>A (2) (3) 材料と加工の技術の評価・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組み立て及び仕上げについて学習します。 ・完成した製作品を自己評価します。 <p>D (1) 情報通信ネットワークと情報モラル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の特性とモラルについて学習します。 <p>D (4) 情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトを活用した学習に取り組みます。
3 学 期	<p>D (1) コンピュータと情報通信ネットワークの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組みを学習します。 ・情報のデジタル化の方法と情報量について学習します。 ・情報伝達の特徴や有効な利用方法について学習します。 ・文書作成ソフトウェアを活用し、まとめ作業に取り組みます。 	<p>D (3) プログラムによる計測・制御</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測・制御をする目的や条件に応じて、情報処理の手順を学習します。 ・簡単なプログラムの作成を通して、プログラムの基本的な処理手順を理解し、プログラムの変更や実行など基本的な操作を学習します。 <p>D (1) 情報通信ネットワークと情報モラル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書作成ソフトの活用 ・簡単な計測・制御をするためのプログラムを作成します。 	<p>D (4) 情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護や著作権、コンピュータ犯罪などについて考え、情報モラルの重要性について学習します。 ・プレゼンテーションソフトウェアを活用し、技術科で学んだことをまとめます。

評価の観点と評価内容の予定

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主 な 評 価 方 法 と そ の 内 容 全 学 年 共 通	○授業や実習への取り組み ○授業プリント ○提出物の内容と 実習の進行状況 ○作品 ○定期考査	○授業や実習への取り組み ○授業記録 ○授業プリント ○提出物の内容と 実習の進行状況 ○作品 ○定期考査	○授業や実習への取り組み ○授業記録 ○授業プリント ○提出物の内容と 実習の進行状況 ○作品

学年・学期・分野により使用する評価内容や重み付けが異なる場合があります。

※ 技術分野と家庭分野の先生がそれぞれ評価し技術・家庭科として成績を付けます。